

SHOES CLOAK SYSTEM <h1>wallzet ENOAK</h1> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">必ずお読みください</p>	シューズクロークシステム <h1>ウォールゼット エノーク2</h1> <h2>取扱説明書</h2>	<h3>NANKAI 南海プライウッド株式会社</h3> NANKAI PLYWOOD 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10 <hr/> 首都圏営業グループ 首都圏 第1・2・3チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645 東日本営業グループ 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695 関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645 中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646 <hr/> 西日本営業グループ 近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647 中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648 九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649 <hr/> 特需営業グループ 特需 第1・2・3チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
--	---	--

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行った場合には、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

<h3 style="margin: 0;">注意</h3>	誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。 (※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。 (※2) 物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。	本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。 「してはいけない」を示します。 「必ず行なっていただくこと」を示します。
--------------------------------	---	---

注意

		<ul style="list-style-type: none"> ● 製品の上には乗らない。 棚板の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ハンガーパイプにぶらさがらない。 ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 耐荷重の目安を必ず守る。 棚板やハンガーに過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起り、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。 (下記「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い

	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に水をかけない。 本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。 表面に粘着跡が残るおそれがあります。

お手入れ

	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常のお手入れ方法 乾いた柔らかい布で乾拭きする。 ● 汚れがひどい場合 中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させる。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ● 換気をする。 収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行なってください。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ● 油やインクに注意する。 水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。
--	---

耐荷重の目安

数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

部材名	間口	荷重範囲
天板	1300mm以内	30kg
棚板（可動・固定兼用）	900mm以内	20kg以内 <small>上吊ハンガーパイプを取り付ける場合、合計で20kg以内（注）</small>
樹脂棚板	900mm以内	3kg以内
上吊ハンガーパイプ	900mm以内	20kg以内 <small>樹脂棚板に取り付ける場合：2kg以内</small>
ハンガーパイプ	1000mm以内	20kg以内
ハンガーパイプフック	—	1kg以内
スライドハンガー	—	5kg以内
回転トレー	—	1kg以内

(注) 棚板に載せる物の重さと上吊ハンガーパイプに吊り下げる物の重さの合計

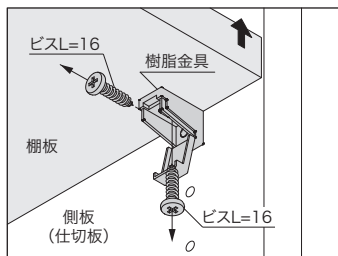
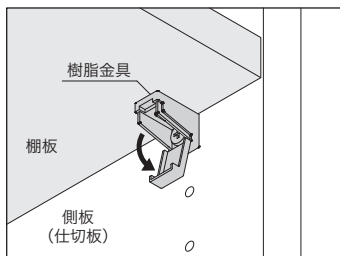
棚板(固定・可動)の移動・取り付け

棚板は樹脂金具にて取り付けしている箇所(固定)と、可動棚受金具にて取り付けしている箇所(可動)があります。下記を参照にして移動・取り付けを行ってください。

棚板(固定)の場合

【棚板の取り外し】 【樹脂金具取り付け箇所】 前後2箇所×左右

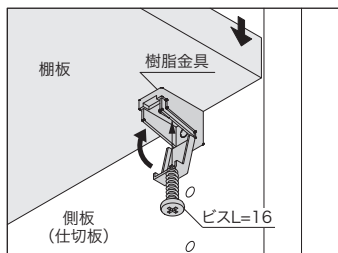
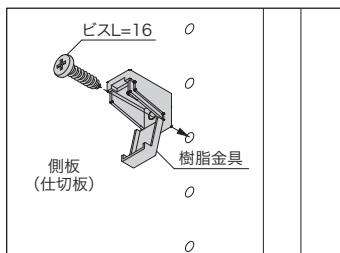
- ①現在取り付けしている棚板下部の樹脂金具のキャップをあげてください。
- ②バインドビスL=16をプラスドライバーで左に回し、棚板を取り外してください。



注意 棚板の落下にご注意ください。

【棚板の取り付け】

- ①棚板を取り付ける位置のダボ穴にバインドビスL=16で樹脂金具を側板(仕切板)と固定してください。
- ②バインドビスL=16で樹脂金具を棚板と固定した後、樹脂金具のキャップをしめてください。



注意

- 取り付けダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。

棚板(可動)の場合

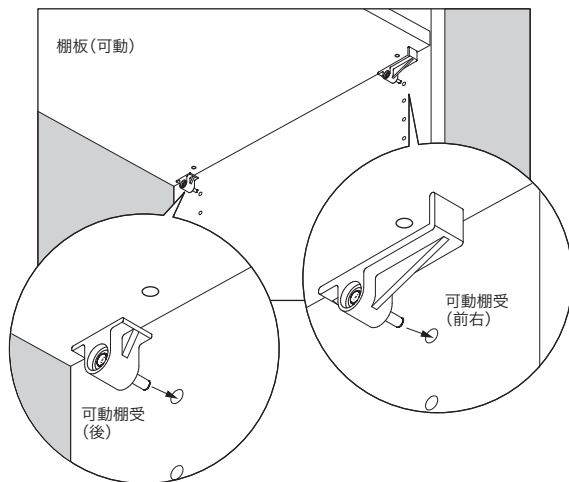
【棚板の取り外し】

棚板を上を持ち上げて取り外した後、前後の可動棚受金具を取り外してください。

【棚板の取り付け】

棚板受のピンをダボ穴に差し込み、可動棚板をのせてください。

【可動棚受金具取り付け箇所】 前後2箇所×左右

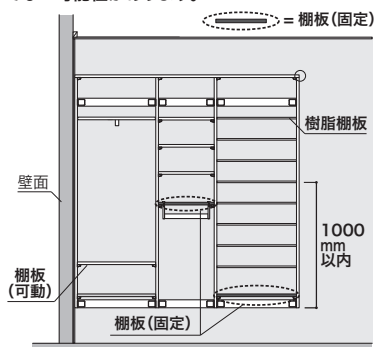


注意

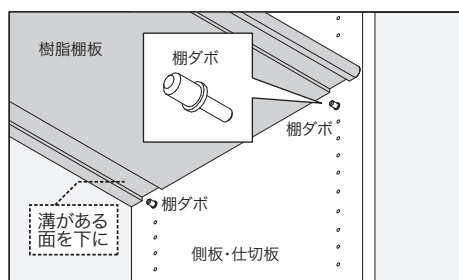
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

注意

側壁のないオープン側に必ず棚板(固定)を1枚設置してください。仕切板1枚につき棚板(固定)を1枚設置してください。設置高は側板・仕切板下面から1000mm以内です。お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度及び強度が保てない可能性があります。



樹脂棚板の移動・取り付け



- ①棚板ははずします。
- ②棚板を取り付ける位置のシステム穴に棚ダボの円柱が細い方を差し込み、棚板を乗せます。

注意

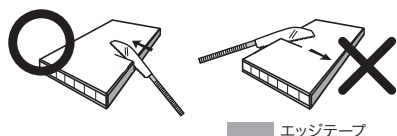
棚ダボが同じ高さになるようにご確認ください。

棚板(固定・可動)のカットを行なう場合

棚を取り付けたい位置の幅が450, 600, 800, 900以外の場合はカットが必要です。

重要 必ずエッジテープ側からカットしてください。

棚板はカットが可能となっております。カットする場合、必ずエッジテープのある側からカットを始めてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



樹脂棚板のカットを行なう場合

W598, W778, W898には鉄芯が入っています。カットする際は鉄芯を樹脂棚板から抜き取り、高速カッターでカットします。樹脂棚板は電動丸ノコでカットしてください。両方をカットした後、樹脂棚板の元の位置に鉄芯をはめ込みます。

各サイズ鉄芯入数
W448: 0本 / W598: 1本 / W798・W898: 2本

D2用樹脂棚
W450: 鉄芯なし
W600: 鉄芯1本入
W800: 鉄芯2本入
W900: 鉄芯2本入

D3用樹脂棚
W450: 鉄芯なし
W600: 鉄芯1本入
W800: 鉄芯2本入
W900: 鉄芯2本入